

浄土真宗の教章(私の歩む道)

宗名

浄土真宗

宗祖

親鸞聖人

(開山)

誕生 一一七三年五月二十一日
(承安三年四月一日)

往生 一二六三年一月十六日
(弘長二年十一月二十八日)

宗派

浄土真宗本願寺派

本山

龍谷山本願寺(西本願寺)

本尊

阿弥陀如来(南無阿弥陀仏)

聖典

・ 釈迦如来が説かれた『浄土三部経』

『仏説無量寿経』 『仏説観無量寿経』

『仏説阿弥陀経』

・ 宗祖 親鸞聖人が著述された主な聖教

『正信念仏偈』(教行信証) 行巻末の偈文

『浄土和讃』 『高僧和讃』 『正像末和讃』

・ 中興の祖 蓮如上人のお手紙

『御文章』

教義

阿弥陀如来の本願方によって信心をめぐまれ、念仏を申す人生を歩み、この世の縁が尽きるとき浄土に生まれて仏となり、迷いの世に還つて人々を教化する。

生活

親鸞聖人の教えにみちびかれて、阿弥陀如来の信心を聞き、念仏を称えつつ、つねにわが身をふりかえり、慚愧と歓喜のうちに、現世祈禱などにたよることなく、御恩報謝の生活を送る。

宗門

この宗門は、親鸞聖人の教えを仰ぎ、念仏を申す人々の集う同朋教団であり、人々に阿弥陀如来の智慧と慈悲を伝える教団である。それによつて、自他ともに心豊かに生きることのできる社会の実現に貢献する。